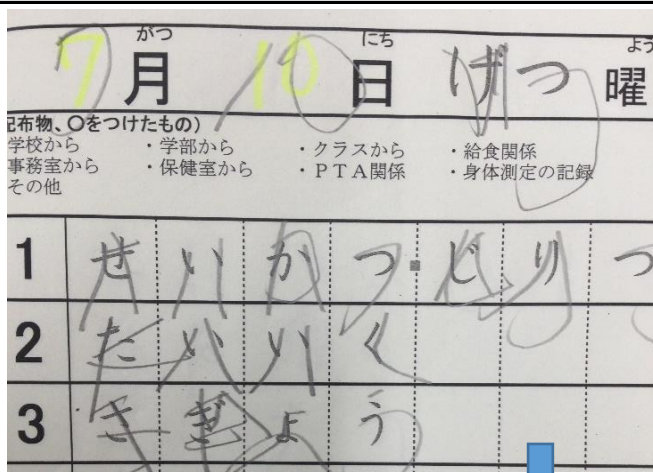



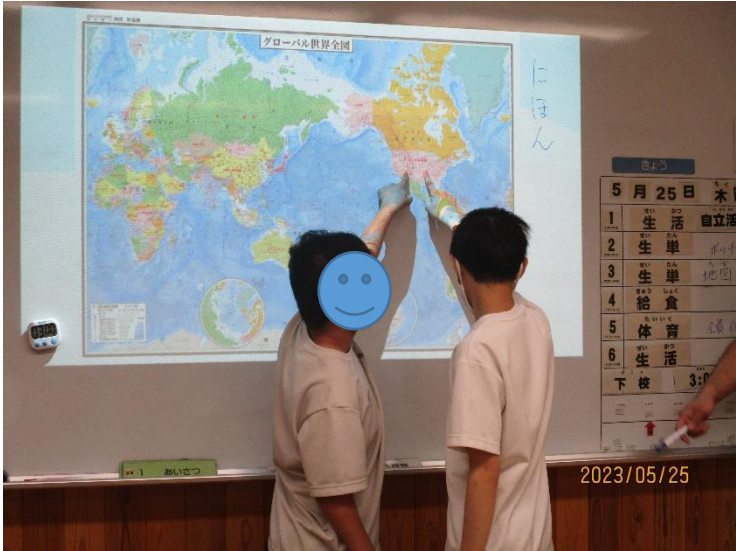



ICT活用事例		学部	中学部	学年	1	報告者	稲葉 裕子
科目名	国語						
单元名	暑中見舞いを書こう						
活用アプリ、機器等	・ こどもレター						
ICT活用ポイント	・ 文字サイズを調整して書くことが難しい生徒が、ハガキに添えるメッセージを書くために利用						
活用場面 (写真)							
生徒の反応、指導者の感想など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要なひらがなを一文字ずつ大きく書くことができる。文字を画像データとして保存でき、組み合わせることで読みやすく挨拶文を書くことができた。 ・ ゆびなぞりで文字を書くことで、鉛筆で書くよりも丁寧に文字をなぞり書きすることができていた。 ・ 有料アプリのため、全体で活用するのは難しいかもしれない。 						

ICT活用事例		学部	中学部	学年	1	報告者	尾上
科目名	国語・数学						
单元名	くるまでおでかけ						
活用アプリ、機器等	<ul style="list-style-type: none"> ・ P C ・ 電子黒板付きプロジェクター ・ 電子ペン ・ P I B O (絵本) 						
ICT活用ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクターに映し出された絵本に電子ペンで線を引くことで、生徒の興味関心を引き出すことができる。 ・ プロジェクターの絵本と同じ絵本を、手元にも用意することで、手元で確認したり、手元や肩周りを使ってペンを動かしたりすることができる。 ・ 電子ペンを使うことで、友だちの動きにも関心が行き渡り、内容の理解にもつながる。 						
活用場面 (写真)							
生徒の反応 (感想、意見、効果など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段参加しにくい生徒も興味を示し、実際に参加することができた。 ・ 手元で引く線と前で引く線では、扱う筋肉の違いからか、得意不得意が発見され別の視点の課題が確認された。 ・ 回数を重ねることで、線をよく見て引くことができた。 						

ICT活用事例		学部	中学部	学年	2	報告者	杉戸楓弥
科目名	自立活動						
单元名	クイズ						
活用アプリ、機器等	<ul style="list-style-type: none"> ・ iPad ・ 効果音アプリ 						
ICT活用ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じような音があるため、繰り返し、聞くことで違いに気づくことができる。 ・ 音の種類も多く、興味を持って意欲的に取り組むことができる。 ・ 日常生活の音やパトカーの音等ジャンルに分かれているため、分かりやすく生徒が自分たちで、探すことができる。 						
活用場面 (写真)							
生徒の反応、指導者の感想など	<p>効果音を楽しみながら、自分たちで意欲的にいろんな音を聞いていた。「この音はなーんだ」とクイズ形式にすることで、支援者が鳴らした音を聞いて、1つ1つ画面をタッチしながら確認して、生徒同士で協力しながら同じ音を探していた。同じような音を見つけると、「これ」や「違うよ」といった関わりができた。</p>						

ICT活用事例		学部	中学部	学年	2	報告者	蟹江 文久
科目名	生単						
单元名	学校の周りの上空写真を見よう						
活用アプリ、機器等	<ul style="list-style-type: none"> ・ グーグルアース ・ 電子黒板付きプロジェクター 						
ICT活用ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が現地に行くだけでは分からない学校周辺の地形を、拡大したり縮小しながら写真で見ることができ、建物の大きさや方角を捉えやすい。 ・ 校外歩行に行ってる公園やお店などを、実際の上空写真で探すことで、学校周辺の道路や環境をより詳細に知ることができる。 						
活用場面 (写真)							
生徒の反応 (感想、意見、効果など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校からいつも校外歩行で立ち寄る公園までのルートを正確に指でなぞることができる生徒がいた。 						

ICT活用事例		学部	中学部	学年	3	報告者	木村 文宣
科目名	特別活動						
単元名	スマホ・ケータイ安全教室						
活用アプリ、機器等	スマホ（BYOD登録済み）、スマホスタンド（個人持ち）、電子黒板付きプロジェクター、iPad、Classroom、Meet						
ICT活用ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちが不安定で集会への参加が難しかった生徒を、教室から遠隔で参加させることができた。 ・BYODに登録しているスマホと、折りたたみ式のシンプルなスマホスタンドを活用することで、段取りの手間を少なくすることができた。 ・省スペースで撮影する事ができるので、他の生徒の集中を妨げにくい。 						
活用場面 (写真)							
生徒の反応 (感想、意見、効果など)	<p>【感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室で落ち着いて視聴することができた。 ・教室に戻ってからの振り返りも、全員で話をする事ができた。 <p>【スマホスタンドについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホスタンドは個人持ちである。高さや角度の調節が可能で、折りたたむとコンパクトになる。使い勝手が良いので教室に常備している。 						

ICT活用事例		学部	1	学年	1	報告者	山口章康
科目名	国語・数学						
単元名	・漢字にチャレンジ						
活用アプリ、機器等	・漢字忍者						
ICT活用ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校1年生から6年生までの漢字について、効果音やアニメーションで漢字を楽しく学習することができる。 ・漢字が思い出せない、わからないときに、それぞれの実態に応じて、そのままiPadで調べたり、国語辞書で調べたりすることができる。 ・ある程度の形が取れていれば、正解を確認することが容易にできる。 						
活用場面 (写真)							
生徒の反応 (感想、意見、効果など)	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字については、「面倒だ」「いやだ」などということが多く見られたが、自分のペースですすめられることや、正解が出やすい設定にすることで、熱心に取り組むことができています。 ・わからない漢字などがあるときに、「教えて」とすぐに教員に頼っていたが、iPadで調べる方法や、辞書で調べる方法を知ることによって、自分なりに取り組む姿が見られるようになった。 ・漢字の正確さや美しさを求めることは難しいので、別にプリントでの学習を併用している。 						